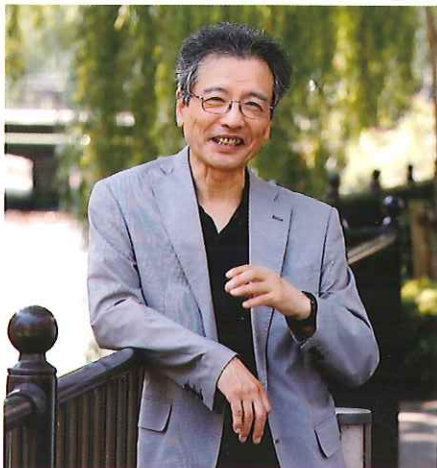


人はなぜ表現するのか？

〈表現の魅力を探訪する講座〉

4回シリーズ
定員50名



人の心を震わせる文章。

それまでの生き方を変えてしまうほどの映画。

ものの見方が変わってしまう演劇。そういう表現との出会いがある。

あるいは、逆に表現することで自分を救うこともあるだろう。親しい人との別れを詩にすることで、乗り越えることも可能なのだ。

この講座は、**文章、演劇、映画、写真**という四つの表現を横断しながら、その特徴と魅力を紹介する講座である。

こんな見方があったのかという、驚きの発想との出会い。

いわば、表現を表現するというテーマを味わう連続講座である。

講師 萩原 朔美【前橋文学館館長】

1946（昭和21年）、東京生まれ。映像作家、エッセイスト、多摩美術大学名誉教授。母は小説家の萩原葉子、母方の祖父は萩原朔太郎。演出家として活躍の後、サブカルチャー誌「ビックリハウス」をパルコ出版より創刊し、初代編集長に。著書に、『思い出のなかの寺山修司』『演劇実験室天井桟敷』の人々』『死んだら何を書いてもいいわ』の他、母親との共著『小綬鶏の家 一親でもなく子でもなく』など。2016年4月から現職。

開催日時 13:00~14:30

講座	内容	日にち
第1回	文章	平成31年1月12日(土)
第2回	演劇	平成31年2月 9日(土)
第3回	映画	平成31年3月 9日(土)
第4回	写真	平成31年4月 6日(土)

場所 前橋文学館
3階ホール/4階研修室

- 申し込み開始：平成30年11月3日(土)
- 締切：平成30年11月末日
- 申し込み方法：FAXもしくは電話で

〒371-0022 前橋市千代田町 3-12-10

前橋文学館友の会
「表現の魅力を探訪する講座」係

TEL 027-235-8011 (呼び出し)
FAX 027-235-8512

受講料

4回通し(一般) 7,000 円
 (友の会会員) 5,000 円
 1回のみ参加 2,000 円

申込者が多数の場合、抽選になります。
また、定員に大きく満たない場合は開催できない場合があります。

申込用紙は裏側

表現の魅力を探訪する講座 参加申込書

平成30年11月 日

受講 (右の①か②に○印)	①通し参加希望 (AかBに○印)	Ⓐ 一般 (7,000円)	Ⓑ 友の会会員 (5,000円)
	②個別参加希望 (1講座 2,000円)	文章 ・ 演劇 ・ 映画 ・ 写真 (希望講座に○を付け、合計金額を下欄に記入してください)	
	③受講料	個別講座数 (_____ 講座)	受講料 (_____ 円) 総計 (_____ 円)
氏名	(ふりがな)		
住所	〒 _____		
連絡先	携帯電話	固定電話	
	メールアドレス		
お願い事項 (参加、不参加どちらかに○印をお願いします)	<p>本講座は、皆様とともに運営してゆきたいと考えています。そのための「運営準備会議」を予定しています。ぜひとも、ご参加ください。</p> <p>場所：文学館 4階 研修室 日時：平成30年12月13日 13時集合</p> <p>運営準備会議に <u>参加</u> ・ <u>不参加</u></p>		
連絡事項	(何かありましたら、お書きください)		

- 申し込み開始：平成30年11月3日(土)
- 締め切り：平成30年11月末日
- 受講料は、初回時に集金します。

FAX番号 **027-235-8512** (前橋文学館)

主催：水と緑と詩のまち 前橋文学館友の会 協力：前橋文学館